



食物アレルギーの治療の原則は「正しい診断に基づいた必要最小限の原因食物の除去」です。血液検査の結果が陽性でも必ずしも症状がでるとは限りません。

「念のため」、「心配だから」といって必要以上に除去する食べ物を増やさないようにしましょう。原因食物でも症状が誘発されない範囲までは積極的に食べることが望ましいのです。

◆原因食物がわかったら・・・



- ★まったく食べたことがない場合は検査結果などの経過をみて食物負荷試験を考慮します。
- ★食べたことがある場合は過去の摂取量から除去を解除したり食物負荷試験を実施します。症状が出たことがある場合は除去継続し、定期的な検査や食物負荷試験を行います。

症状がなくてもアレルギー検査で陽性だった食べ物を初めて食べる時には、食物経口負荷試験のようにごく少量から始める必要があります。

アトピー性皮膚炎のお子さんが皮膚症状だけで食物除去をしていた場合、初めて食べて即時型反応を起こすことがあるので注意しましょう。



食物経口負荷試験



ってなに？

食物アレルギーのもっとも確実な診断法は経口食物負荷試験（実際に食べてみる検査）です。

食物アレルギーがあるかどうかの診断や、耐性獲得できているかの確認のために行います。

代表的な食物として、**卵、牛乳、小麦**などがあります。



◆食物アレルギーとは・・・

食物に含まれているタンパク質がアレルゲンとなり、アレルゲンとIgE抗体が結びついてアレルギー反応を起こす物質を作り出します。血液検査でアレルギーを表す数値が陽性でも、症状がなければ食物アレルギーとは診断されません。

代表的なものとして

★即時型反応（じんましん、アナフィラキシーなど）
原因食物摂取後2時間以内に症状がでることが多いです。

食物負荷試験の実際

- * 負荷試験中は院内で過ごします。
- * 20～30分ごとに少量ずつ量を増やし症状が出ないことを確認しながら摂取していきます。
- * アレルギー症状として発疹やかゆみなどの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、ぜいぜいや息苦しさなどの呼吸器症状が出る可能性があります。症状が出た時点で試験は終了です。
- * 症状に応じて、抗ヒスタミン薬の内服、吸入、点滴を行うことがあります。
- * 終了後、自宅での摂取方法について指導があります。（その時に症状なく食べられた量までは、自宅でも食べていただきます）

*ご不明な点は、医師やスタッフにご相談ください。

★食物アレルギーが関与する乳児アトピー性皮膚炎湿疹の増悪に関与している場合や、即時型反応を合併していることもあります。但し全ての乳児アトピー性皮膚炎に食物が関与しているわけではありません。

- ★食物依存性運動誘発アナフィラキシー
- ★口腔アレルギー症候群もあります。

今月の絵本



よるくま 酒井 駒子

男の子の夢の中のお話。でも、どこか現実の世界とつながっているような... 心がほっこりする絵本です。みなさんも、いい夢が見られますように☆



おしらせ

第5回そらいろこどもまつり

5月10日（火）14：00～16：00（雨天決行）
診察がない方も遊びに来てくださいね(o^o^)/

★今月の川柳大賞★

夜勤明け 帰ると息子 幼稚園



★☆おたのしみに★☆